

## 第29回アイオノマーシンポジウム in 東京

テーマ：高分子とイオンの関わりがもたらす凝集構造変化と機能発現の最前線

開催趣旨：高分子とイオンの関わりは高分子の凝集構造に大きな影響を与えるだけでなく工業材料として新しい有用な機能の発現につながります。アイオノマーはそのような機能性材料の一つですが、材料特性をさらに向上させ、また新たな応用用途を生み出すためには、凝集構造をはじめとする基礎的な理解が不可欠です。本シンポジウムでは、アイオノマーの原点ともいえるエチレンアイオノマーの材料開発を支える基礎研究の最新的话题を松葉 豪氏（山形大学）と青山正貴氏（三井・デュポン ポリケミカル）より、燃料電池の重要部材であるナフィオン薄膜の構造解析に関する最新情報を川口大輔氏（九州大学）より、電解コンデンサにおけるイオン性分子/アイオノマー適用の可能性について石本修一氏（日本ケミコン株式会社）にご講演いただきます。

主催：アイオノマー研究会（[http://www1.gifu-u.ac.jp/~kutsu\\_ap/ionomer\\_index.html](http://www1.gifu-u.ac.jp/~kutsu_ap/ionomer_index.html)）

協賛：日本化学会、高分子学会、日本レオロジー学会、プラスチック成形加工学会

日時：平成28年11月24日（木） 13:00～18:00

会場：キャンパスイノベーションセンター5階 山形大学東京サテライト（東京都港区芝浦3-3-6）

会場へのアクセス：JR 田町駅から徒歩（<http://www.yamagata-u.ac.jp/satellite/tokyo/index.html>）

参加費(含要旨集代)：一般 2,500円(別途1,500円をお支払いの方は1,000円) 学生 1,000円

懇親会費：5,000円

参加申込：本シンポジウムに参加を希望される方は受付の迅速化のために下記連絡先に電子メール（[smatsuda@eng.u-hyogo.ac.jp](mailto:smatsuda@eng.u-hyogo.ac.jp)）にて参加申込みを行ってください。その際、懇親会の参加の有無もご連絡ください。

申込先：兵庫県立大学大学院工学研究科 化学工学専攻 松田 聡

TEL/FAX: 079-267-4853 E-mail: [smatsuda@eng.u-hyogo.ac.jp](mailto:smatsuda@eng.u-hyogo.ac.jp)

### プログラム

13:00～13:05 開会の挨拶（会長：岐阜大学 沓水祥一）

13:05～13:50 「ナフィオン薄膜の凝集構造とプロトン伝導」

九州大学・分子システムデバイス国際リーダー教育センター ○川口大輔

九州大学・大学院工学研究院・応用化学部門（機能） 田中敬二

13:50～14:35 「電解コンデンサとイオン性分子」

日本ケミコン株式会社・基礎研究センター・先端材料グループ ○石本修一

14:35～14:50 休憩

14:50～15:35 「エチレン系アイオノマーのX線を利用した精密構造解析」

山形大学・工学部・機能高分子工学科 ○松葉 豪

15:35～16:20 「酸-陽イオン交換を示さないエチレン系アイオノマーの性質」

三井・デュポン ポリケミカル株式会社・マーケティング部・

ビジネスディベロップメントグループ ○青山正貴

16:20～17:50 ポスターセッション

\*本シンポジウムでのポスター発表をご希望の方は電子メールにてご連絡ください。当研究会の趣旨に即した内容であれば、どなたでもご参加いただけます。審査対象発表者が5名以上のときはポスター賞（三井・デュポンポリケミカル賞）の審査を行います。

17:50～18:10 閉会の挨拶（副会長：山形大学 西岡昭博）とポスター賞表彰式

18:30～ 懇親会